

耳よりな話

N.54

平成 27 年 5 月 21 日発行

(労働・社会保険ニュース)

阿部年金労務管理研究所

阿部 純二 (社会保険労務士)

〒194-0045 東京都町田市南成瀬 5-25-14

Tel 090-1200-1526 Fax 042-722-1526

E-mail: abenenkin@ybb.ne.jp

<http://nenkinsodan.web.fc2.com/>

◎年金関連はどうなる？

平成 27 年度に実施される年金関連事項は以下です。

・国民年金

支給額 年額 780,100 円 (昨年比 +7,800 円)

保険料 月額 15,590 円 (昨年比 +340 円)

* 「耳寄りな話」 N. 53 を参照ください

・厚生年金・共済年金一元化

10 月 1 日より両年金が一元化されます。これにより、公務員や私立学校の教職員は今後厚生年金に加入することになります。

一元化の趣旨は、将来、民間勤務の人であれ公務員や私立学校の教職員であれ、報酬が同じであれば、同一保険料を負担し、同一年金給付を受けると言うものです。

現在は、共済加入の後民間会社に就職して厚生年金に加入した人(またその逆のケース)が年金請求する場合、請求書を「共済組合」、「日本年金機構」おのおのに提出する必要がありましたが、今後は 1 か所に提出するだけで良いこととなります。

また、それぞれに「加入期間確認通知書」を添付する必要がありましたが、今後は不要となります。

ただし、年金給付内容は現在同一ではないため、給付は原則従来通りの経過措置がとられます。

・マイナンバー制導入

平成 28 年 1 月から、国民全員にマイナンバー (個人番号) が付与されます。

この趣旨は住民票を持つすべての国民に一人一つの番号を付与して、社会保障、税、災

害対策分野の情報を効率的に管理して有効に活用するものです。

3つの効果が期待されます。

1. 公平公正な社会の実現・・・所得や行政サービスの受給状況を把握することにより、不正受給の防止、また逆に受給していない人への支援
 2. 国民の利便性・・・添付書類などの削減により行政手続の簡素化
 3. 行政の効率化・・・縦割り行政の連携を進め、重複、無駄の削減
- 平成 27 年 10 月から順次 番号通知が始まります。

* このマイナンバー制導入については、まだ十分承知していない人が多いようです。

周囲のご存じない方に知らせてあげてください。通知番号を大切に保管する必要があります。

現在も 11 桁の「住民票コード」が一人一人に通知されているのですが、利用頻度が低い
ため知っている人は少ないようです。

【おことわり】

「耳よりな話」にてお知らせする年金等の内容につきましては、平易な文言にてその骨子を説明することを心掛けております。従いまして、法令条文通りの厳密な解釈や例外規定の適用に拠っては該当しない人もいます。その旨をご理解頂きますよう、更に詳細が必要な方は別途お問い合わせください。

* 既発行の「耳よりな話」は <http://nenkinsodan.web.fc2.com/> をご覧ください。



「耳寄りな話」N.52にて、勝海舟を初め多くの幕臣の努力が功を奏した結果、徳川家は廃絶することなく静岡 70 万石の一大名になったことを記述しましたところ、「新選組」の著名な研究家である村瀬 彰吾先生(*)から、「徳川家存続には有名な幕臣だけでなく、意外な人々の功績があった」との大変貴重なアドバイスをいただきました。以下概要をまとめてみました。

勝海舟が江戸城を無血開城すべく西郷隆盛と交渉したことは既述のとおりです。勝海舟は山岡鉄舟を始め信頼のおける人物を多用して徳川家存続に成功したわけですが、それ以外でも忘れてならないのが江戸町火消しの頭、**新門辰五郎**と海道一の大親分と言われた**清水次郎長**です。

勝海舟は官軍の江戸総攻撃に備え、新門辰五郎に100万江戸市民を隅田川以東に避難させる指示をしていました。(万が一、官軍が約束を守らない場合には江戸市民を避難させた後に、江戸を火の海にする策も備えていたようです。町火消しの頭に火付けを命じるのも奇想天外です。)

新門辰五郎はこの指示に従ったことは勿論のことですが、それ以前から15代将軍慶喜の警護役として京都にも随行し、その後も終生慶喜公に忠義を尽くしました。

他方、幕臣2万人(家族を含め数万人)を静岡に安全に移送・移住させるには大変な苦勞が伴う訳ですが、そこに活躍したのが清水次郎長(山本長五郎)です。

若い頃から無宿博徒として大政、小政、森の石松などを従えての博徒人生は講談でおなじみですが、山岡鉄舟に感化されてからは生まれ変わったような人物になり、その後の人生で大活躍しました。

例えば、富士山南麓開墾や牧の原地域等で茶畑、養蚕などの殖産事業を起こし旧幕臣の生業に大いに寄与したことは有名ですが、次郎長を特に有名にした事件に“咸臨丸”の悲劇的末路での活躍があります。

幕末、榎本武揚率いる咸臨丸は幕府軍艦として最後の決戦をすべく奥州に向け江戸湾を脱出しますが、暴風のため故障し清水港に流されてしまい修理にあたっていました。東上してきた官軍艦船は、戦闘不能で白旗を掲げる咸臨丸に対して有無を言わさずの砲撃を加えた結果、旧幕側に多数の戦死者が出ました。戦死者は長い間湾内にそのまま放置されて臭気とともに漁民の生業に支障が出始めるのですが、官軍からの後難を恐れて誰も片づける者がいません。

そこで清水港を牛耳る博徒の次郎長が「死者に官軍も賊軍もない」との義侠心から埋葬・供養しました。山岡鉄舟、榎本武揚、旧幕臣、多くの市民から大変感謝されました。(後日、それを逆恨みした輩から、次郎長2番目の妻お蝶が殺害されるのですが)

その他、一般市民の為の教育(英語塾設立など)にも尽力した史実があります。

序の話ですが、幕末に次郎長以外にもこれら博徒が人の嫌がる事を人道的立場から率先して活躍した事例があります。

“鳥羽伏見の戦い”後の死体や残務処理では京都会津小鉄会が、“函館五稜郭の戦い”後の死体や残務処理では函館博徒の柳川熊吉が正に侠客の面目躍如の活躍をしました。

ご参考: 村瀬 彰吾先生の略歴・HP・ブログ

中央大学商学部卒

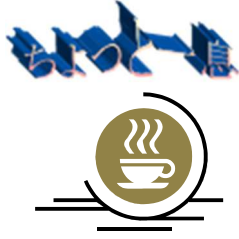
日野市役所リサイクル推進課長としてゴミ処理に活躍、全国区で有名に

日野市「新選組ふるさと歴史館」館長 著書:「人間 土方歳三」(舞字社刊)

「新選組」、その他歴史関連の事績発掘、各種講演、音楽演奏に活躍中

「新選組・江戸歴史研究 村瀬塾」の塾長として講座主宰(随時入塾可)

<http://www.shougo.net>



第一生命が毎年「サラリーマン川柳コンクール」を発表しています。

傑作をご披露します。

(本件は第一生命様から転載の承認を得ております)

気を配り マナーモードで いびきかく

世相仮面

儉約家 セルフで給油 釣忘れ

富豪予備軍

冷え症は わたしじゃなくて この財布

宣茶

サラ川に オレだけじゃないと はげまされ

瓢雲

大いびき^{おお} リモコン切つたら 「見てたのに」

お手上げパパ

第二十回 第一生命サラリーマン川柳コンクールより